

# 題を問う

一般質問

## 復興事業の進展について



にい ぜき ぜん ぞう

新関善三 議員

### 早期発注完成を目指します

質問

12月定例会で質問し検討を進めると回答を得た、①災害公営住宅②ベルグ福島工場③西部工業団地④新庁舎建設、各事業の現況と実態について回答を求めます。

町長

①災害公営住宅につきましましては、敷地造成工事、道路工事及び水道排水管敷設工事を発注しまして、本年9月末の完成を予定して工事に入っているところでございます。建築設計につきましても年度内に発注を行い、造成工事の完了と同時に建築設計を完了したいと考えております。今後の見通しは、造

成工事等が終了した後に開発許可に係る完了検査や建築物確認の申請等の諸手続を行い、建築工事は平成28年6月末を見込んでおります。

②地下水等の対策工法の検討により工事発注ができておりましたが、現在では遅滞なく羽田産業団地の整備を進め、調整池造成工事を実施しているところであり、新年度における工場敷地部分の造成工事に向け、詳細な設計及び円滑な実施のための工程について検討しており、早期発注、完成を目指してまいる考えであります。

③計画どおり伐採や伐根処理の作業を進めており、順調に進捗していると考えております。町といたしましては、平成27年度末までの造成完成を目標に取り組んでおり、工事の実施に当たっては、安全確保に向けた防災対策を重点に、調整池の構造や切土・盛土工、排水構造物等に係る様々な検討を重ねながら、工事が安全かつ円滑に竣工するよう対応してまいります。

④先般都市計画法に基づく開発行為や土地収用法に基づき事業認定の手続が終了したことから、造成工事を進めているところであり、建設工事につきましましては、先月24日に条件付き一般競争入札の公告を行い、3月19日に入札を執行する予定であります。町民サービスの向上が図られるよう平成27年度末の完成を目指して取り組んでまいる考えであります。

## 農業の再生と振興策について

### 広報周知を行いながら推進を図ります

質問

農業の現況は、非常に厳しい中で日々農業者の皆様方は努力されているわけでございますが、これら再生には、行政の援助が欠くことはできません。「人・農地プラン」の取組みについて回答を求めます。

町長

「人・農地プラン」の活用により、集落において中心的な経営者に農地の集積を図り、新たな農業経営形態の将来像を目指すことになりましたが、現時点では、集落での具体的な取り組みには至っていない状況であることから、広報周知を行いながら、「人・農地プラン」の推進を図ってまいりたいと考えております。



災害公営住宅敷地

# 課の町

## 期日前投票時の改善について

### 総合的観点から検討します

**質問**

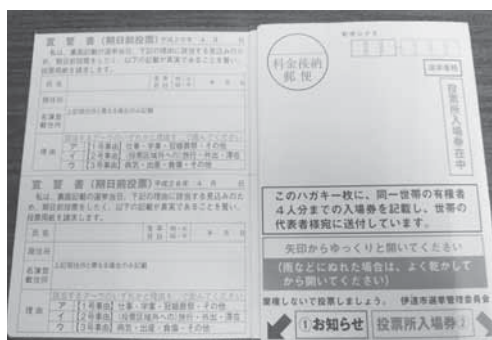
現行の入場券ではなく、宣誓書つき入場券にして、前もって自分の名前を書いていき、投票所では候補者の名前を書くだけに改善すべきではないのか。既に福島市、郡山市、いわき市、伊達市や南相馬市と実施されております。ぜひ、本町も早急に改善すべきと考えますが、お伺いいたします。

**町長**

選挙における入場券の作成やその取り扱い等につきましては、選挙管理委員会が行うものではありますが、近年の投票率の低下傾向を踏まえ、投票率向上を目指す

す方策を検討していただきたく思っているところがございます。入場券の裏に宣誓書を印刷しておけば、あらかじめご自身の氏名を記入しておくことはできますが、一方では、生年月日、現住所、期日前投票の理由については記入していただく必要が生じ、ご負担はふえるものと思われま。また、入場券の裏面を利用する場合は、宣誓書自体が小さくなり、記入する際にも書きにくくなる

ことが予想されます。以上のことから、宣誓書つきの入場券につきましては、今後、総合的観点から検討し、選挙管理委員会ともよく協議をしてまいりたいと考えています。



宣誓書付き入場券

## 除雪対策について

### 次年度に向けて検討します

**質問**

各小中学校に除雪機を町で購入して配置してはどうか。

**教育長**

設置した場所の格納場所の問題やメンテナンス等の保守管理の問題もございますので、各学校の校長を初めPTAの方々意見も拝聴し、次年度に向け鋭意検討してまいります。

**質問**

商店街は町の玄関口であり、児童たちの通学路でもありますので、一番先に除雪すべきではないか。

**町長**

町の除雪要領では、幹線道路やスクーバス路線の除雪を最優先としておりまして、また、限られた事業者及び重機数で対応しておりますので、全地区、全路線を同時に対応することは非常に困難であります。随時、除雪路線の優先順位や体制を見直しながら作業を実施し、町内の積雪時のスムーズな道路交通の確保に努めてまいります。

## プレミアム商品券の発行について

### 5月中の発行を目指します

**質問**

生活を助け個人消費を下支えするプレミアム商品券の発行予算額と発行時期はいつか。

**町長**

平成26年度一般会計補正予算として、

事業費4,472万8,000円を計上いたし、速やかに準備を進め、5月中を目標に取り組んでまいりたいと考えております。



かの い み こ

菅野意美子 議員

# 平成27年度予算を伺う



さいとうひろみ  
齋藤博美 議員

## 予算執行に全力で取り組みます

**質問** 予算の主眼は。

**町長** 集中復興期間の最終年度となる平成27年度において、一日も早い復興と、若者が夢と希望を持って安心して町内に住み、いきいきと働き続け、子育てができる、「復興から発展へ、進化するかわまた」の実現を目指す。

**質問** 地方創生事業の町の対応策は何か。

**町長** 本町におきましては、人口の減少に加えて、東日本大震災の

影響により少子高齢化に拍車がかかっていることから、結婚・出産・子育ての支援、高齢者が生きがいを持ちながら地域の中で豊かに暮らせる環境の整備、交流人口の拡大など、地域経済の活性化を推進する施策を検討してまいりたいと考えております。

**質問** 子育て支援策は何か。

**教育長** 主な子育て支援策としては、妊婦健診など各種健診の充実を初め、小中学生の学業指導や放課後の健全育成を図る「わいわいク

ラブ事業」の充実、本の読み聞かせ、あるいはブックスタート、子育てサークル支援などの「子育て支援事業」など10事業を計上し、子育て支援の充実に努めます。

**質問** 地方創生先行型といったしまして、新たに5歳児に対する保育料の無料化を実施するものがあります。教育関係につき



川俣小学校

ましては、「基礎学力向上推進支援事業」、「スワールソーシャルワーカー派遣事業費」などの従来から行ってきた事業を継続するとともに児童生徒が授業で活用しておりますコンピュータを最

## 教育の現況を問う

### スムーズな英語活動が進んでいます

**質問** 児童の体型への対策は。

**教育長** 川俣町の児童生徒の体格は、全国と比べて特に問題はなく、体重につきましても、深刻な肥満傾向を示しているとは判断する状況にはないものと考えております。

**質問** 英語教育の実態は。

**教育長** 小学校の外国語活動指導について、いち早く国の動向を踏まえ、鋭意教員の研修に努めてきたところであります。

新のモデルに更新する事業など新たな事業を実施することとしたしております。読書環境の整備及び学校図書館の充実を図るため司書の配置も実施していく考えであります。新たに実施いたします地方創生事業におきましては、幼稚園、小・中学校への図書購入費など、そ

のほか18歳以下の医療費無料化や、かわまたこどもハッピー・スクール事業の継続など、さらには町の屋内運動場の遊具の増設など、幼児・児童・生徒の心身ともに健康で生き生きと成長できるように意を尽くしたところがあります。

**質問** 読書大賞を創設すべきでは。

**町長** 創設の意義を含め、今後、定例の教育委員会等で十分協議の上、今後検討してまいりたいと考えております。

# 一日も早い地域農業の復興再生を

## 生産力の向上等を目指し復興再生に取り組めます



いし かわ きよし

石河 清 議員



イノシシ対策（小島地区）  
ワイヤーメッシュ柵設置作業

**質問**

国が進めようとしている農政改革を町長はどのように受け止めているか。また、本町の農業復興再生をどのような方策・ビジョンを進めるのか伺う。

**町長**

農業の構造改革の推進は必要であると考えております。そのため、持続的に発展可能な生産構造の構築に向けた、園芸作物との主要品目の生産拡大の促進、適地・適作による農産物の安定供給の確立、意欲ある担い手の積極的な生産活動の推進、農用地の集積や農業用施設等の資源を活用した多彩な農産物の生産、さらには気象・立地条件等を生かした生産力の向上等を目指し、本町農業の復興再生に取り組んでまいりたいと考えております。

**質問**

農地について土壌検査、放射能検査を行い、線量の高い農地は再除染すべきであると考えているか。

**町長**

国、県に対して土壌放射能物質の再測定を要望してまいりたいと考えています。

**質問**

町内全ての山林について除染計画などを作製し、除染に取り組むべきと考えるが。また、森林に対する賠償についても国、東電に強く求めるべきと考えるか。

**町長**

国の動向を注視しながら、森林除染の実施に向け、要望してまいりたいと考えています。これまでも国や東京電力株式会社に対して、被害者の視点に立った親身・迅速な賠償等を強く求めてきたところであり、全

ての被害者が賠償請求をできるよう、請求手続の周知や相談等の対応にきめ細かに取り組んでまいりたいと考えています。

**質問**

26年度に実施した小神笠松のため池の実証結果はどのようなになっているか。全てのため池を除染すべきと考えるか。

**町長**

県による事後モニタリングの結果によれば、除染効果を池全体で面的に測定した場合では平均で13%の低減、ポイント的には土壌サンプルで測定した場合では、鉛直で乾燥状態に換算して30%の低減、攪拌状態では60%の低減でありました。全てのため池について、対策検討に向けた調査実施に係る事業費を平成27年度一般会計予算

に計上したところであります。

**質問**

新規就農者や後継者のため助成制度（月15万円を3年間助成）で後継者育成を図るべきだが。

**町長**

既存の制度を十分に活用しながら、今後新たな支援策として検討を進めさせていただきたいと考えています。

**質問**

農業受託者に対して補助金を支給するなどの支援策は。

**町長**

既存の制度を十分に活用しながら、今後新たな支援策として検討を進めさせていただきたいと考えております。

**質問**

有害鳥獣対策について①被害対策費の増額②多様な人材確保③「獣害対策マスタープラン」などの作成

**町長**

①平成26年度の実施隊の実績等を踏まえ、当初予算において必要な経費を計上したところがあります。②有害鳥獣被害対策の広報時にお知らせとして掲載し、町民の方々に実施隊への加入をお願いする考えであります。③「獣害対策マスタープラン」の作成を含めたさらなる対応と継続した有害鳥獣被害対策を、積極的に進めてまいりたいと考えています。



1歳6ヵ月健診会場

## 町長4期目の5つの約束の中での「安心して子育てができる町づくり」について伺う

### 子ども子育て支援事業計画を作り検討します

**質問** 「子育て支援の総合的な施設の設置を図る」となっているが、いつまでにどのようなことを考えているか。

**町長** 具体的な構想につきましては、私が本部長を務める町内組織の川俣町地域創生推進本部や、産業界、大学、金融機関、労働団体、住民代表等から成る地域創生の地域総合戦略策定に向けた外部委員会においても検討していただく考えであります。



たか はし みち や

高橋道也 議員

**質問** 町長は、震災前の出生数に戻らない現状をどう思っているか。

**町長** 少子化の要因については、結婚しない者の割合が増加していること、結婚する時期が遅くなっていること、夫婦が持つ子どもの数が少なくなってきたこと等が挙げられますが、特に、本町におきましては、原発事故の影響は否めなもののがあると考えております。

**質問** 福島市や伊達市などは、27年度予算に独自の子育て支援策を計上しているが、川俣町独自の予算は何か。

**町長** 妊婦一般健診及び産後1ヵ月健診などの妊産婦健診委託料を初め、4歳児までの歯科検診委託料、里帰り出産

に要した妊婦健診の受診料助成などの母子保健事業、ブックスタート、子育てサークル支援などの子育て支援事業費の拡充、かわまたこどもハッピー保育、かわまたこどもハッピー・スクール事業、集団宿泊体験学習推進事業、出産祝金給付金、保育奨励給付金、入学祝金給付事業、5歳児保育料無料化、学校司書の配置など本町独自の子育て支援のための平成27年度予算を計上しております。

**質問** 子育て支援の総合的な対策はどのようなのか。

**町長** 若者が安定した仕事に就き、伴侶となる人に出会い、結婚して子どもをもうけ、親となつて子どもをいっしょに育て、教育を施して、生きる力と確かな学力を習得させ、そして子どもを社会に送り出すという、一連の暮らしを営む中で、それぞれの段階に応じた切れ目のない支援を実施していくことが重要であると考えてお

**質問** 川俣町子ども・子育て支援事業計画はできたのか。

**町長** 川俣町子ども・子育て支援検討委員会を設置し、策定を進めてまいったところであります。現在、各課からの意見を集約している最中でございます。この各課からの意見の集約及び修正が済んだ後に、議員の皆様へ川俣町子ども・子育て支援事業計画案を提示申し上げ、ご意見を伺った上で、正式な川俣町子ども・子育て支援事業計画として公表することといたしております。

# 新庁舎は必要最小限の機能で つくるべき

## 可能な限り事業費全体の縮減に努めます



たか はし みち ひろ

高橋道弘 議員

**質問**

町の将来人口及び財政力を踏まえれば、新庁舎の経費は圧縮すべきではないか。

**町長**

今後予測される人口の減少により、それに伴う税収や交付税の減少も懸念され、今後の町財政は厳しさを増すことが想定されます。また、庁舎建設費の財源は、国からの財政支援と県からの補助金以外は、起債等に大きく依存することから、後年度負担を少しでも軽減するため、可能な限り適切に設計の見直し等を行いながら、事業費全体の縮減に努めてまいっている考えであります。

**質問**

本年2月23日に2年遅れで庁舎建設特別委員会に提示された「財政計画」は無謀すぎるのではないか。

**町長**

償還金のピークは平成34年度で約6億8,500万円となり、本年度償還金の決算見込みと比較して、約1億7,000万円を上回る額になるものと想定しております。復興公営住宅の整備に当たりましては、現時点で約6億円の財源不足を見込んでございますが、町では国・県に対して、交付金等での対応を求めているので、現時点では未確定であるため、当該償還シミュレーションでは、町債等で対応する計画としております。

**質問**

町民が望んでいるのは、立派で豪華な庁舎ではなく、地域社会が少子化、高齢化が深化しても維持継続できる医療、介護、教育サービスの充実であると思うが、この町民の思いは実現できなくなるのではないか。

**町長**

内外装の意匠に關しましても、決して華美なものではなく、電気や機械設備につきましても、省エネルギーに配慮した適切な設計であると考えております。しかしながら、労務費や建築資材価格の高騰により、建設単価が上昇する中で、建設費の財源については、国からの震災復興特別交付税や県からの補助金以外は起債等に大きく依存することから、後年度の負担を少しでも軽減できるように、可能な限り事業

### 今後の財政収支見通し

(単位：千円)

|               | 平成25年度<br>(実績) | 平成26年度<br>(決算見込額) | 平成30年度    | 平成35年度    |
|---------------|----------------|-------------------|-----------|-----------|
| 歳入額(A)        | 18,665,320     | 23,350,726        | 5,162,039 | 4,991,302 |
| 歳出額(B)        | 18,195,000     | 23,250,755        | 4,998,111 | 4,988,945 |
| うち<br>普通建設事業費 | 1,374,384      | 3,243,440         | 245,800   | 133,200   |
| 差引(A-B)       | 470,320        | 99,971            | 163,928   | 2,357     |
| 赤字額累計         | —              | —                 | —         | —         |

費の節減に努めてまいっているものでございます。今後は財政状態を検証しながら、医療、介護、教育サービスの一層の充

実に向けた持続可能な財政運営の取り組みを徹底してまいっている考えであります。

# 仮置き場期限延長と山木屋地区の避難解除時期をどうみるか

## 地域の皆様、町議会・国・県との十分な協議を進めます

**質問** 仮置き場期限延長と山木屋地区の避難解除時期をどうみるか。

**町長** 平成25年8月に山木屋地区の区域見直しが行われ、直しが決定・施行されたわけであり

や医療・郵便などの生活関連サービスがおおむね復旧し、また、子どもの生活環境を中心とする除染が十分に進捗した段階

で、さらには区域見直しに当たり、山木屋地区の皆様からの要望を取りまとめた12項目に係る進捗を見きわめ、かつ、平成27年度から立ち上げる除染検証委員会の議論も参考にしながら、山木屋地区の皆様、町議会、国、県との十分な協議を踏まえて行うものと認識をしております。



かん の きよ かず  
菅野清一 議員

## 山木屋地区復旧復興対策の進捗状況とその見通しは

### 条件を遵守するよう国に求めます

**質問** 山木屋地区復旧復興対策の進捗状況とその見通しは。

**町長** 「山木屋地区復旧・復興事業工程表」

につきましては、「インフラ・生活関連サービス」や「安心・安全の確保」、「地域コミュニティ機能の維持・確保」、「営農・事業の再生・振興」などから成るものであり、「インフラ・生活関連サービス」については、震災に伴う国道114号の改良や、山木屋出張所、公民館、山木屋小学校の修繕等が終了しており、現在は集会施設の修繕箇所調査や山木屋中学校（川俣中学校内仮校舎）のトイレ改修、復興公営住宅整備、井戸掘削事業、デマンド型交通の運行などを進めているところであります。



山木屋地区の除染

ますが、このときに住民の皆様にご説明申し上げましたとおり、「避難指示」の解除につきましては、電気、井戸水、主要交通網、通信など、日常生活に必要なインフラ

## 避難区域再編時の12項目条件は守られるのか

### 計画的に進めます

**質問** 避難区域再編時の12項目条件は守られるのか。

**町長** 12項目につきましては、一昨年の避難指示区域の見直しの際

に、町から原子力災害対策本部長である安倍晋三総理大臣に対して示したものでございます。山木屋地区の復旧・復興に必要な取り組みであ

る一方で、避難指示解除に当たっての判断の指針ともなることから、しっかりとその進捗状況について注視していくとともに、将来にわたり町が示した条件を遵守するよう、引き続き国へ求めてまい



数値が異なる線量計（山木屋）

# 第5回 臨時会

## 議員定数削減 16人→12人

4月10日に第5回臨時会が開催され、直接請求(※3)による、「川俣町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」が提案審議され、賛成多数により可決されました。

また、専決処分(※4)の報告・承認に関する議案7件、補正予算1件も提案され、審議のうえ全て原案のとおり可決されました。

### 条例の改正

●川俣町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

#### 質問

12月定例議会の議員定数等調査特別委員会では、現状維持で報告されている。このことについてはどのように認識しているのか。

(遠藤宗弘議員)

#### 答

議会の報告については認識しています。地方自治法には住民の権利として、直接請求の制度があります。その結果を真摯に受け止め、今般は提案させていただいた。

(古川町長)

#### 質問

現在は原発事故が収束しておらず緊急時である。町長は復旧復興はここ数年が山場であると発言していたがそれとの整合性は。

(菅野正彦議員)

#### 答

復旧復興が正念場を迎えるのは事実であります。そのような現状を承知しての直接請求だと認識しております。

(古川町長)

### 討論

反対者 議員定数については昨年9月から11月かけて議員定数等調査特別委員会でも議論され現状維持が望ましいと報告された。少子高齢化が進み限界集落が発生、議員定数



意見陳述する佐藤新一 請求代表者

ります。議員定数多ければ解決する訳ではありません。議員各位が復旧復興を認識し、活動すれば町の発展に寄与できるものと思います。賛成の立場から発言します。

(新関善三議員)

### 採択

採決の結果、賛成多数で可決しました。

#### 賛成した議員

村上 源吉 高橋 道弘  
嶋原 利光 高橋 道也  
菅野 清一 新関 善三  
佐藤喜三郎 高野善兵衛  
以上8人

反対した議員  
高橋真一郎 斎藤 博美  
菅野意美子 菅野 正彦  
五十嵐謙吉 石河 清  
遠藤 宗弘 以上7人

### 専決報告・承認

●平成26年度一般会計補正予算

#### 質問

ふくしま森林再生事業の町の負担はいくらですか。(高橋道弘議員)

476万11千円で  
(産業課長)

#### 質問

寺久保住宅の解体事業について、何が問題で執行出来なかったのか。

(遠藤宗弘議員)

#### 答

土地所有者の協力が得られていません。交渉は行っておりますが理解を得られておりません。

(産業課長)

#### 質問

27年当初予算と繰越金を合わせると180億超になりますが遅滞なく執行出来るのか。

(新関善三議員)

#### 答

万難を排して執行いたします。

(企画財政課長)

#### 質問

寺久保住宅はどのような理由で解体するのですか。

(嶋原利光議員)

#### 答

震災以降使用しておらず、老朽化しておりますので解体することとしました。

(産業課長)

# 町民の声

## 私のひと言



### 絹の里見守り隊としての町づくり

鶴 沢  
藤 本 博 さん

新入生のみなさんが元気よく入学いたしました。おめでとうございます。私は富田小学校の絹の里見守り隊として本年度4年目となります。東部会の21名の方々と一緒に下校する子供さんの交通安全を見守りながら、子供さんとのふれあいも楽しみです。学校での事、友達の事、給食の事、色々と話をしてくれます。自分の家に近づく、と、ありがとうございますと元気よく挨拶をして帰ります。

しかし危険の多い通学路は心配でなりません。鶴沢字鍛冶内地域は旧114号線ぞいが歩道と車道の間に、ガードレールがありません。元気な子供さんが車道に飛び出す危険があります。震災以後は、法定速度以上の猛スピードで走行する車が多くなり、一日も早くガードレールの設置をしていただきたいと思います。大切な大切な未来の宝、子供さんを交通事故に遭わせないように、見守り隊の一員として、今後も活動を続けていきます。

## 栄えある表彰

2月25日に福島県町村議会議長会定期総会が開かれ、その席上、斎藤博美議員、菅野意美子議員、新関善三議員が議会議員15年以上在職の功績により、全国町村議会議長会から自治功労者表彰を、受賞されました。



## 議員の寄付は禁止されています

議員は公職選挙法により、選挙区内の人にお金や物を贈ることは禁止されています。禁止されている寄付行為等には次のようなものがあります。

- ①町内会などの集会への飲食代や品物の差し入れ
- ②お祭りへの寄付や差し入れ
- ③秘書などが代理で出席するお葬式の香典や花輪
- ④地域の運動会やスポーツ大会への差し入れ
- ⑤出産、入学、卒業就職などの祝金や品物
- ⑥お中元やお歳暮などちょっとしたおみやげ
- ⑦開店祝いなどの花輪や祝金

◆議会だより編集委員  
委員長 黒 沢 敏 雄  
副委員長 菅 野 意 美 子  
委員 高 橋 道 弘  
委員 村 上 源 吉

震災、原発事故から丸四年が過ぎて集中復興期間の最終年度に入り、具体的な復興の姿を示されるのか今年は正念場である。仮設住宅での不自由な生活から一日でも早く帰還できる環境整備に全力あがって懸命に取り組んでいます。27年3月定例議会も予算特別委員会審議にて、閉会いたしました。復興予算を初め、新庁舎建設費も盛り込まれていよいよ建設着工の段階となります。防災機能を備えた行政サービスを中心に復興のシンボルとして新庁舎が早期に完成する事も期待します。人口減少時代に突入し、経済の停滞や生活水準低下にも連なってきた現在の、今年五月に消費喚起効果の高いプレミアム付商品券の発行事業が開始されます。本町は一万円で一万三千円の買値物ができるという、うれしいニュースがあります。これからも議会だよりを是非多くの方に読んでいただけるよう努めて参ります。(菅野意美子)

編集  
後記